

第71回全日本実業団バドミントン選手権大会
監督会議資料（事前連絡版）

【1】事前周知事項

1. 参加選手名の確認

監督は、大会参加申込書と大会プログラムのチーム名、選手名、背番号などが同じか、確認してください。

2. チーム役員・選手の変更の受付について

チーム役員、選手等の変更は、6/8までに日本実業団バドミントン連盟事務局へメール送信すること（jimukyoku@badminton-jitsugyodan-jp.com）とし、以後の変更は認めません。所定の様式「チーム役員・選手変更届」を使用して下さい。試合（対戦）時監督が不在の場合（男女で登録監督が同じ場合など）は、その試合（対戦）の監督代行をオーダー用紙の「監督代行」欄に記入しレフェリーに申告してください（大会運営規程 第36条に関連する）。

3. 無資格選手の出場について

- (1) オーダー交換前に判明した場合は選手登録を抹消とします。ただし、チームへのペナルティを科すことはしません。
- (2) オーダー交換後に判明した場合はチームを失格とします。この場合は、該当チームにペナルティを科すこととします。
- (3) ペナルティ内容については、日本実業団バドミントン連盟の理事会にて決定し、別途通知することとします。

4. ベンチの使用およびベンチ入りメンバーについて

- (1) ベンチは、主審に向かって右側を組み合わせ番号の若いチームが使用します。
- (2) ベンチ入りできる者は、大会申込書と大会プログラムに記載のチーム構成員（チーム役員、選手）とベンチ入り可能な最大人数は、4名とします。（コーチ席はなし。）

5. ドーピング検査の実施について

- (1) 今大会ではドーピング検査を実施します。
- (2) 検査は選手全員が対象となっており初回戦に出場した選手が対象となることもありえます。指名された選手はマッチ（試合）終了後検査が行われます。
- (3) 従って、各チームの監督・選手の皆さんは大会当日トラブルが生じないよう事前情報の収集を含めアンチ・ドーピングにご理解ください。
- (4) なお、陽性の反応が出た場合には、戦績の剥奪、出場停止等重い処分が科されますので、十分ご注意願います。

6. 領収書

チーム受付時にお渡しします。

【2】競技進行について

1. 競技規則等について

- (1) 本大会は、日本実業団バドミントン連盟が定めた大会要項、令和3年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程により行います。

2. オーダー用紙について

- (1) オーダー用紙は、「本部用」、「対戦チーム用」及び「自チーム用」の3部で構成されています。
- (2) 「本部用」、「対戦チーム用」及び「自チーム用」を試合（対戦）開始予定時刻の30分前までに大会本部に提出して下さい。
- (3) 勝ちチームは試合（対戦）終了後に各会場の大会本部で受け取って下さい。

3. 連続試合の場合の間隔及び、オーダー用紙提出について

- (1) 連続試合（対戦）の場合の試合間隔は20分とします。
- (2) 開始予定時刻の10分前までにオーダー用紙を大会本部に提出して下さい。

4. 選手等の集合、試合開始時刻について

- (1) 選手は、原則として試合（対戦）開始予定時刻の1時間前までに会場に到着して下さい。
ただし、各競技日の第1試合（対戦）については、試合（対戦）開始時刻の30分前までとします。
- (2) 監督・選手等は、試合（対戦）開始10分前までに準備を済ませ、係の指示に従って下さい。
ただし、各競技日(大会第4日・5日は別途案内をします)の第1試合（対戦）《大会第1日10：30開始の試合（対戦）、大会第2日9：30開始の試合（対戦）、大会第3日9：30開始の試合（対戦）》については、タイムテーブルに指定されたコートに試合（対戦）開始時刻の10分前までに集合して下さい。
- (3) 試合（対戦）開始時刻および試合（対戦）コートは、変更することがあります。会場の放送に注意して下さい。
- (4) 競技開始時刻が遅れた場合、あるいは試合（対戦）が長引いた場合は、並行試合となります。レフェリーの指示に従ってください。

5. 試合開始前の練習について

- (1) 試合（対戦）の練習は、各マッチ（試合）前に2分間、ダブルスはペアで、シングルスは対戦選手で行ってください。
大会第4日・5日は別途案内をします。
- (2) 空きコートでの練習は、認めません。

6. 試合の打ち切りについて

全試合、勝敗決定後打ち切りとします。

7. 出場選手の間違ひについて

オーダー用紙の記載内容と異なった順での出場が判明した場合は、該当チームを失格とします。
ただし、レフェリーが試合（対戦）の勝敗を確認した後に判明した場合は、該当試合（対戦）は有効とします。

8. 競技規則等の違反者（チーム）への対応について

競技規則等および「競技上の注意」に違反した者（チーム）については、発生の都度、レフェリーおよび日本実業団バドミントン連盟（大会本部）で協議の上決定し、対処します。

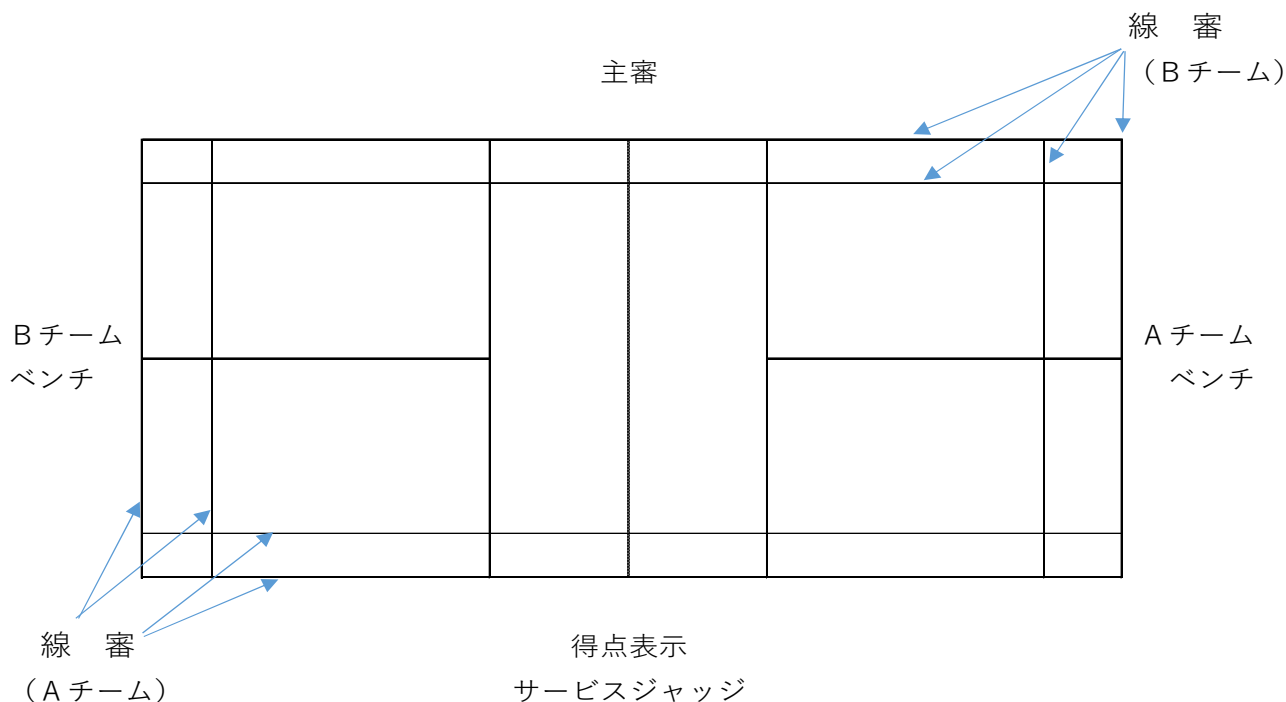
【3】審判の実施について

1. 審判の担当について

- (1) 6月23日(水)（競技第1日目）、6月24日(木)（競技第2日目）、6月25日(金)（競技第3日目）の全試合（対戦）は、対戦チーム同士の『登録審判制』で行います。
- (2) 6月26日(土)（競技第4日目）、6月27日(日)（最終日）の試合（対戦）は、大会開催地の審判員が行います。準決勝、決勝の線審は大会運営規程第7条（3）により4人以上で行います。

2. 6月23日(水)（競技第1日目）から6月25日(金)（競技第3日目）の審判実施方法

- (1) 出場チームは、(公財)日本バドミントン協会公認審判3級以上の資格者を4名以上登録して下さい。
- (2) 『登録審判制』により行いますので、各対戦チームは、それぞれ2名の登録審判員を出し、主審1名、線審2名、サービスジャッジ・得点表示1名の計4名で審判団を構成し実施して下さい。
- (3) 各対戦チームは、主審（矢印のライン）、線審（Aチーム）、線審（Bチーム）（矢印のライン）、サービスジャッジ・得点表示の組合せで実施して下さい。順番は両チームで協議して下さい。



競技規則（抜粋）

第9条 第1項（6）サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体が必ずコート面から 1.15m以下でなければならない。

- (4) 試合（対戦）開始時のスコアシート、イエロー・レッドカード（ストップウォッチ）の受取は組み合わせ番号の若いチームの担当とします。試合（対戦）終了後の結果の確認（主審署名・勝者署名の確認）および本部への報告は勝者チームの監督が行って下さい。（次の試合のオーダー用紙を必ず受け取ること。）
- (5) 各マッチ（試合）を担当した主審の方はスコアシートの「主審署名欄」へ名前を記入してください。

- (6) 各チームの登録審判は審判手帳を持参いただければ、審判実績を手帳に記録しますので、試合（対戦）終了後に本部にて押印を受けて下さい。

3. マッチ（試合）中のけがまたは病気

- (1) マッチ（試合）中のけがまたは病気には慎重かつ適切に処置しなければならない。主審はこの問題について出きる限り早く決断するよう努めなければならない。もし、必要ならばレフェリー（競技役員長）を呼ぶ。レフェリー（競技役員長）は、医療役員やその他の医療関係者をコートに呼ぶ必要があるかどうかの判断を下す。医療役員は、プレーヤーを診察し、プレーヤーにけがや病気の状態を知らせる。プレーの遅延を不当に引き起こす如何なる医療処置も認めてはいけない。
- (2) もし、出血がある場合は、出血が止まるまで、あるいは傷が適切に保護されるまで、そのゲームの再開を遅らせる。または、それ以外の場合にレフェリー（競技役員長）が主審にゲームの再開を遅らせるよう指示することがある。
- (3) もし、プレーヤーが主審に、けがや病気のために棄権の意思表示をしたときは、主審は「アー ユーリタイアリング（棄権しますか）」とプレーヤーに尋ねる。もし、棄権の意思が確認できれば、主審は適切な審判用語（「プレーヤー名・チーム名」「リタイアード（棄権）」、「マッチ・ワンバイ」、「プレーヤー名・チーム名」、「スコア」）を用いコールする。（競技規則付録5 審判用語）
- ①もし、主審がプレーヤーのけがや病気の訴えが、正当な主張であるかどうかの確信がなければ、レフェリー（競技役員長）をコートに呼ぶ。

（スコアシートの例示）

AA	1	<table style="border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <tr><td style="padding: 0 10px;">2</td><td style="padding: 0 10px;">1</td><td style="padding: 0 10px;">-</td><td style="padding: 0 10px;">8</td></tr> <tr><td style="padding: 0 10px;">7</td><td style="padding: 0 10px;">-</td><td style="padding: 0 10px;">2</td><td style="padding: 0 10px;">1</td></tr> <tr><td style="padding: 0 10px;">1</td><td style="padding: 0 10px;">0</td><td style="padding: 0 10px;">-</td><td style="padding: 0 10px;">8</td></tr> </table>	2	1	-	8	7	-	2	1	1	0	-	8	1	BB キケン
2	1	-	8													
7	-	2	1													
1	0	-	8													

4. 公認審判員規程第3条第12項による注意事項（抜粋）

第3条

第12項

- (5) コートサイドで、コーチはマッチ（試合）中、相手側のプレーヤー、コーチ、チーム役員、または担当の審判員と、どのような方法でも連絡（情報交換）を取ってはいけない。
- (6) コートサイドで、コーチはマッチ（試合）中、いかなる目的でも携帯電話、パソコンなどの電子機器を使用してはならない。
- (8) コーチはマッチ（試合）にふさわしい服装で臨むこと。
例えば、チームユニフォーム、大会記念シャツ（今回の大会のもの）、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチサンダル、バーミュダ、ショーツ、スリッパ、サンダルは禁止とする。その適否判断は大会レフェリー（競技役員長）に委ねるものとする。

第15項 モバイルフォン（携帯電話、スマートフォン）

マッチ（試合）中のコート又はコート周辺でのプレーヤーの携帯電話が鳴った時は、競技規則第16条第6項（4）の違反とみなされ、競技規則第16条7項が適用される。

第16項

- (1) 主審は、プレーヤーのコート上での振舞いが常にスポーツマンシップに則った立派なものになっていることに注意を払わなければならない。

【4】練習会場について

1. 練習会場の場所・練習時間について（予定）

○ 稲永スポーツセンター（10面）

6月23日（水）～6月25日（金） 9：30～17：00

○ 露橋スポーツセンター（10面）

6月23日（水）～6月24日（木） 9：30～17：00

2. 練習会場の運用方法について

別途周知

【5】その他の注意・連絡事項

1. 注意事項

(1) ゴミの持ち帰りについて

大会期間中会場から発生したゴミは、各自お持ち帰り願います。

(2) 体育館コンセントの使用禁止について

体育館内でのビデオ撮影は可能ですが、撮影は持参するバッテリーでの撮影のみ可とし体育館内のコンセントの使用は禁止です。

(3) 部旗・応援団旗の掲揚について

部旗・応援団旗の掲揚については、次のとおり扱う事といたします。

掲揚位置が施設・競技に支障があると判断した場合は、撤去又は移動していただく場合があります。

なお、手摺りへのテープによる固定は禁止します。

また、下地の色が白色の場合には、競技に支障をきたすことがありますので撤去していただく場合があります。

(4) 第71回大会用背面チーム名ユニフォームが不足した場合の特例

各試合日の最初のマッチには本大会の「大会取決め事項」に沿ったユニフォームを着用するという条件で、不足が生じた場合は「レフェリー」に承認を得て旧ユニフォームの使用を認める。但し、この場合のユニフォームは、ほかの（公財）日本バドミントン協会1種大会で着用できません。

2. 5位入賞チームの表彰について

5位入賞のチームは希望があれば試合（対戦）終了後準備ができ次第表彰いたします。

3. 自チームの写真撮影等について

- ・自チームの写真撮影等は観客席から行うこと。
- ・対戦終了後の記念撮影は、速やかに撮影すること。

4. 選手名の間違いについて

大会が始まったのちに、大会申込書、大会プログラムの選手名の間違や姓の変更が分かった場合はレフェリーに正しい名前を届け、名前の訂正を行うこと。

5. オーダー用紙への漢字記入の注意

画数の多い文字は簡略文字の使用を認める。

6. 新型コロナウイルス感染症対策

大会参加者に関する留意事項

- (1) 受付時に、健康状態確認シート（自宅で検温）を提出する
- (2) 棄権時は、会場に行かず、メール及び電話等で連絡する
- (3) 外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない
- (4) 試合以外では、マスクを着用する
- (5) 更衣室の使用については、施設管理や大会主催者が定める基準にしたがい、人数制限・利用方法を定める。
- (6) 観戦は、指定された場所や席、または距離を空けて行い、席を移動しない
- (7) 観戦中の応援は、声を出さず拍手などで行う。席を移動しての応援はしない
- (8) ウォーミングアップは距離をあけて行う
- (9) コートへの入退場は、それぞれ指定された時間に、速やかにコートに集合する（移動の際は 2m 以上の間隔を空ける）
- (10) コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに収容する。こぼした時は、モップ等で拭き取る（自分のタオルを使用して拭かない）。
- (11) ラケット・タオル等の用具の貸借はしない
- (12) 床の汗拭きは、モップもしくは所定の用具を使用する
- (13) 汗をコート内やコートサイドに投げない
- (14) シューズの裏を手で拭かない
- (15) 試合中、意図的な声出しを極力しない。
- (16) プレーヤー同士やコーチとハイタッチ等の接触を行わない
- (17) コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う
- (18) ゴミは全て持ち帰り自宅で処分する
- (19) 自身の試合・役割（敗者審判等）が終了したら、観戦や応援をせず、速やかに帰宅する

【6】 監督会議及び開会式について

1. 監督会議

監督会議は開催しません

6月23日（水）10：30～ 試合開始

※各チームは、プログラム掲載のタイムテーブル及び競技規則等に従って対応の程、お願いします。

2. 開会式

今回は中止とします

【7】 会場所在地・アクセスについて

<大会会場>

○日本ガイシスポーツプラザ日本ガイシホール メインアリーナ、サブアリーナ
(名古屋市総合体育館)

〒457-0833 愛知県名古屋市南区東又兵ヱ町 5-1-16 TEL 052-614-3111

J R 東海道本線 「笠寺」下車徒歩3分(名古屋駅から笠寺駅まで11分)

駐車場収容台数 1385台(有料 500円/1日)

<練習会場>

○稲永スポーツセンター

〒455-0845 名古屋市港区野跡 5-1-10 TEL 052-384-0300

あおなみ線 「野跡」下車徒歩10分(名古屋駅から野跡駅まで21分)

駐車場収容台数 281台

○露橋スポーツセンター

〒454-0022 名古屋市中川区露橋 2-14-1 TEL 052-362-4411

名鉄 名古屋本線 「山王」下車徒歩7分(名鉄名古屋駅から山王駅まで5分)

J R 東海道本線 「尾頭橋」下車徒歩8分(名古屋駅から尾頭橋駅まで5分)

駐車場収容台数 79台